

5

0016

REEL No. A-0218

0016

アジア歴史資料センター

五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

極秘

參拾部内 〇 號

戦争指導上速ニ確立徹底ヲ要スヘキ根本方針

昭一三、六、二 課

本事變ニ對シ有終ノ結ヲ與フルハ今後中央ノ努力ニ在リ
之カ爲ニハ戦争指導ニ關スル機構ノ一元強化ト方針、
確立徹底トヨリ急ナルハナシ
今ヤ情勢ノ推移並内外ノ事態ニ考ヘ戦争指導上
確定統一ヲ要スル根本方針ヲ列舉スレハ左ノ如シ

S 1.1.1.0 - 27 2041

S 1.1.1.0 - 27 2040

0017

REEL No. A-0218

アジア歴史資料センター

一、本事變ノ本質及目的

本事變ハ消極的ニハ滿洲事變ノ終末戰タルト共ニ
積極的ニハ東亞解放ノ序幕戰タルノ意義ヲ有シ
皇國一貫ノ國是タル道義日本ノ確立ト東洋文化
ノ再建設トノ爲歴史的一段階ヲ劃スル^{ハキモノナリ}ト在リ
而シテ國是ノ第一次目標タル道義日本ノ確立ハ
今次事變ニ依リ北支ヲ日滿ト一環ノ國防圈ニ包含
スルコトニ依リ概ネ之カ實踐力具有ノ基礎ヲ概成ス
ハク又第二次目標タル東洋文化ノ再建設ニハ先ツ東

S 1.1.1.0 - 27 2042

0018

亞ヲ物心ニ於ケル歐米依存ノ状態ヨリ解放スルヲ
要シ之カ爲ニハ引續キソレ英問題ノ處理ヲ必須ト
シ一般ノ情勢上對ソレ處理ヲ先決トナス

二、日支關係ノ根本基調

日支ハ東洋文化ノ再建ヲ以テ共同ノ目標トシ相互
ニ善隣ノ關係ニ置カルヘキモノナリ 東亞ニ於テ日本ハ
先覺指導者トシテ又支那ハ大ナル實在トシテ
夫々天賦ノ使命實相ヲ有シ相互ニ尊重セラレヘキ
モノナリ

S 1.1.1.0 - 27 2043

日支カ共同目標ニ向ヒ各々其使命ヲ遂行セシ
カ爲ニハ日本ハ日滿北支ヲ範域トスル強力國
防圈ノ確立ヲ必要トシ又支那ハ歐米依存ノ狀
態ヨリ脱却シテ國內ノ治安開發ニ邁進スルノ
要アリ 而シテ日本カ北支ヲ國防圈トシテ考
フルノ程度ハ共同防衛ノ見地ヨリスル 戰略的
考慮ノ外現地ノ福利増進ヲ顧念シツツ日
本ノ不足資源ヲ彼地ニ求ムルヲ以テ基準ト
スヘク又支那カ國內ヲ開發スルノ要ハ日支

S 1.1.1.0 - 27 2044

0019

ノ間有無相通長短相補以テ生産消費交
易等ノ關係ヲ律スルニ在リ

S 1.1.1.0 - 27 2045

REEL No. A-0218

アジア歴史資料センター

三北支ノ皇國ニ對スル地位

河北省及山西省ノ各北半(概正太線)以北ハ資源
開發上並軍事上ノ見地ニ於テ

山西方面

又山東省半島部ハ軍事上ノ見地ニ於テ

皇國ノ自存並日滿國力結成即チ道義日本ノ
大局的生存ノタメ絶対不可欠ノ範域ナリ

從テ右範域ヲ政治地理的ニ包含スル最少限度ノ
地域即北支五省(黃河以北河南省ヲ含ム)ハ平戰兩
時ヲ通シ日滿ト一環ノ結合内ニ置カルヘキモノナリ
而シテ蒙疆ノ地域ハ對シテ見地ヨリ我前線ニ在リテ

防共防露ノ一方面トシテ準備セララルヘキ地域ナリ

四本事業ノ解決ニ方リ確定スヘキ根本事項

(其形式ハ解決ノ情勢ニ依リ多少ノ變化アルヘシ)

第一北支資源ノ開發利用

第二北支及上海ニ於ケル日支強度結合地帯ノ設定

蒙疆ノ對シテ特殊地位ノ設定

第三日支提携一般問題

(1) 善隣偃武

(2) 共同防衛

(3) 經濟提携

S 1.1.1.0 - 27

2047

S 1.1.1.0 - 27

2046

0020

即指導機構ノ設定ハ主トシテ北支ニ限定スヘク
中支ハ上海ヲ除ク外前掲第三一般問題ノ範圍
ニ於テ考定セラレヘキモノナリ

之ヲ要スルニ北支ニ在リテハ軍事及資源上支那主
權ニ對スル我優位ノ設定ヲ基本觀念トシ其他ニ在
リテハ日支平等互惠ノ觀念ニ於テ便宜ヲ得ル程度
ヲ以テ満足スヘキモノトス

五全面的ニ守備ノ態勢ニ轉移スヘキ情勢ニ至ル迄ノ間
ニ於ケル北中支ニ對スル指導方針

五
遼河
山西及山東ノ南境ニ截然一線ヲ劃シ北支ハ守備ノ地
域トナシ又中支ハ純作戰ノ地域トナシ

以テ守備ト作戰トノ混淆ヨリ來ル諸弊ヲ悉除ス
即北支ニ一軍ノ下ニ長期駐屯ノ態勢ニ兵團ヲ配
置シ(蒙疆ニ對シテ見地ヨリ特殊性ヲ保タシム)又中
支ニ一方面軍ノ下ニ不霸獨立純作戰ノ態勢ニ兵
團ヲ部署ス

(四)政務ノ指導ニ一般ニ現地政權發達ノ段階ニ應セシ
ムルモノトス

當分北中支分治ノ形態ヲ存續シ(境界ハ前項ニ同)

S 1.1.1.0 - 27 2049

S 1.1.1.0 - 27 2048

0021

之カ統合調整之統一促進、爲中央ニ機關ヲ設ケ
東京ヨリ、指導力ヲ一層強化ス。漸ク遂ウテ現
地特務部業ノ大部ヲ軍ノ手裡ヨリ分離シ且中
央政府樹之後中央機關ヲ現地ニ推進ス

六

S 1.1.1.0 - 27 2050

0022

REEL No. A-0218

アジア歴史資料センター

六 治安指導ニ關スル方針

（一）北支ノ治安形態ニ關スル基本觀念ハ面ナリ

但當分ノ間南部北支（概正太線東西ノ線（含ス）以
南）ハ幅ヲ有スル線トス

山西ハ當分ノ間治安ノ範圍ヲ平地及交通幹
線ニ限定シ山地ニ對シテハ長圍ノ策ヲ取ル

（二）中支ノ治安形態ニ關スル基本觀念ハ線ナリ
線ハ作戰間ニ在リテハ軍後方連絡線ノ保持ヲ
主義トナシ又守備轉移ノ後ニ在リテハ敵ノ侵入

阻止線タルノ主義ヲモ包含ス

但南京上海杭州ノ三角地帯ハ概テ面トス

S 1.1.1.0 - 27 2052

S 1.1.1.0 - 27 2051

0023

七、戦争指導、強化統一ニ關スル措置

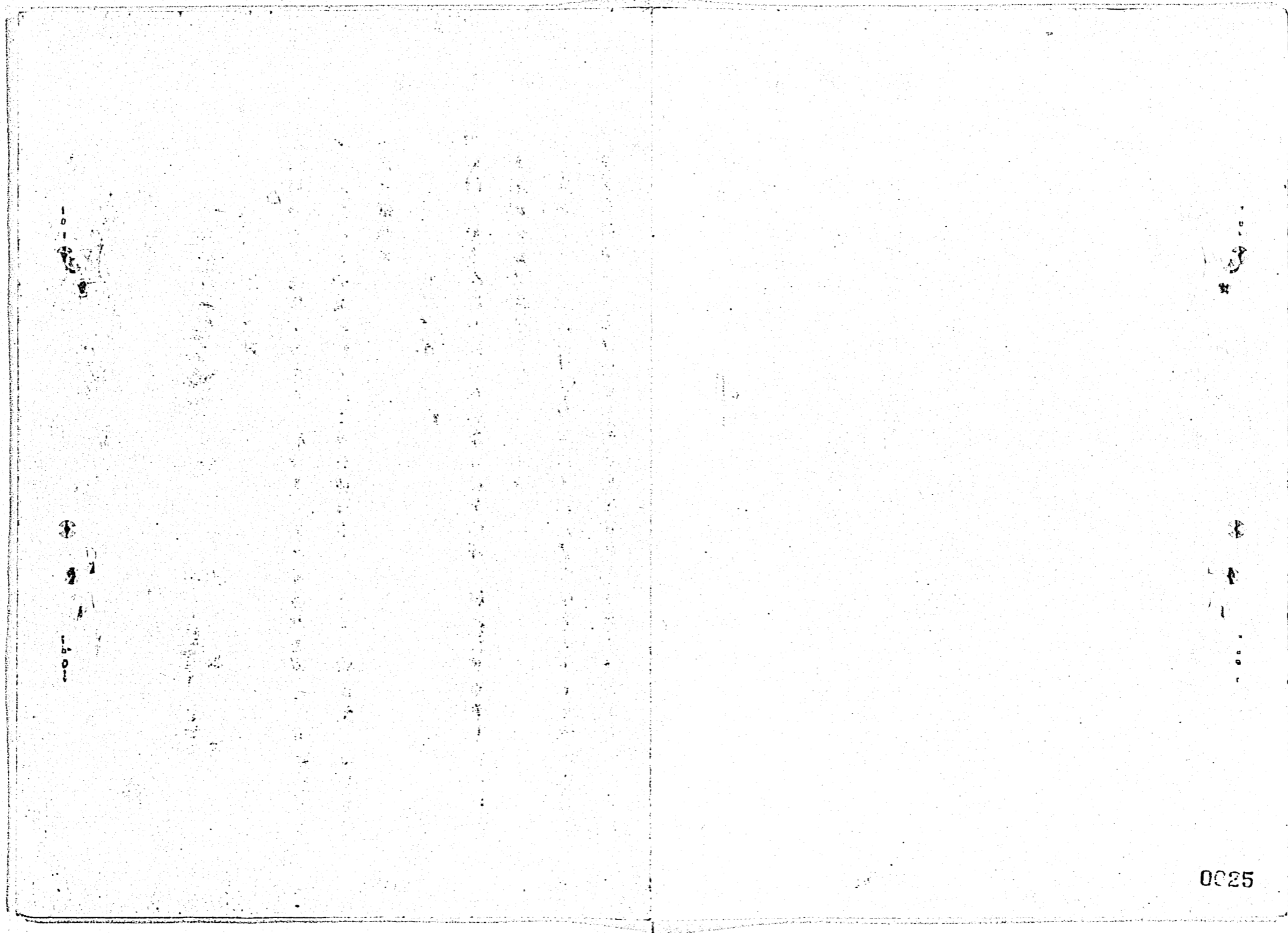
本事變以來國家最大ノ欠陥ハ戦争指導
機構ノ不統一乃至不^右協動ニ在リ今ニシテ之
ヲ是正セスハ本事變ノ成果ヲ逸シ更ニ
近キ將來ニ到來スヘキ歴史的世界轉機ニ
一籌ヲ輸セシコトヲ慮ルルノミナラス事變ニ繼イテ
我危急存亡ノ事態發生ノ懸念スラナキニアラス
職ヲ中央ニ奉スル者正ニ猛省ノ要アリ
即刻強化^案ヲ要スヘキ要項左ノ如シ

皇道精神ノ確立徹底
戦争指導ノ一元強化
統帥力ノ強化並統一
總動員指導權ノ確立
經濟戰及思想戰ノ基礎確立

S 1.1.1.0 - 27 2054

S 1.1.1.0 - 27 2053

0024



0025

REEL No. A-0218



アジア歴史資料センター

極秘

參拾部内

七七號

昭和一三六ニ

0026

戰爭指導上速ニ確立徹底ヲ
要スヘキ根本方針

本事變ニ對シ有終ノ結ヲ與フルハ今後中央ノ努力ニ在リ
之カ爲ニ戰爭指導ニ關スル方針ノ確立徹底ト機構ノ
一元強化トヨリ急ナルハナシ

其一 戰爭指導ニ關スル根本方針

一、本事變ノ本質及目的

本事變ハ消極的ニハ滿洲事變ノ終末戰タルト共ニ積

S 1.1.1.0 - 27

2055

極的ニハ東亞解放ノ序幕戰タルノ意義ヲ有シ皇
國一貫ノ國是タル道義日本ノ確立ト東洋文化ノ再建
設トノ爲歴史的一段階ヲ劃スヘキモノナリ
而シテ國是ノ第一次目標タル道義日本ノ確立ハ今次事
變ニ依リ北支ヲ日滿ト一環ノ國防圈ニ包含スルコトニ
依リ概ネ之カ實踐力具有ノ基礎ヲ概成スヘク又第二次
目標タル東洋文化ノ再建設ニハ先ツ東亞ヲ我皇道ヲ
中核トスル物心兩面ノ共榮ニ導キ以テ不幸ナル歐米依存ノ

S 1.1.1.0 - 27

2056

✓
状態ヨリ解放スルヲ要ス 之カ爲ニ眞日本ノ顯現、滿
洲國ノ善政日滿支ノ提携^{非三}ヲ英問題ノ處
理ヲ必須トシソ英問題ハ一般ノ情勢上對ソ處理
ヲ先決トナス

二 日支關係ノ根本基調

日支ハ東洋文化ノ再建ヲ以テ共同ノ目標トシ相互ニ善
隣ノ關係ニ置カルヘキモノナリ 東亞ニ於テ日本ハ先
覺指導者トシテ又支那ハ大ナル實在トシテ夫々天賦ノ

使命實相ヲ有シ相互ニ尊重セラルヘキモノナリ

日滿支カ共同目標ニ向ヒ各々其使命ヲ遂行センカ爲ニハ日
本ハ日滿北支ヲ範域トスル強力國防圈ノ確立ヲ必要ト
シ又支那ハ歐米依存ノ状態ヨリ脱却シテ國內ノ治安開
發ニ邁進スルノ要アリ 而シテ日本カ北支ヲ國防圈トシ
テ考フルノ程度ハ共同防衛ノ見地ヨリスル戰略的考慮ノ
外現地ノ福利増進ヲ顧念シツツ日滿ノ不足資源ヲ
彼地ニ求ムルヲ以テ基準トスヘク又支那カ國內ヲ開發スルノ

S 1.1.1.0 - 27 2058

S 1.1.1.0 - 27 2057

0027

要ハ日滿支ノ間有無相通長短相補以テ生産消費、
交易等ノ關係ヲ律スルニ在リ

三北支及中南支ノ皇國ニ對スル地位

(イ) 北支

河北省及山西省ノ各北半(概太線)以北及山東省
ハ資源開發上茲軍事上ノ見地ニ於テ皇國ノ自
存並日滿國力結成即チ道義日本ノ大局的生存ノ爲
絶對不可欠ノ範域ナリ

B 1.1.1.0 - 27 2059

0028

從ツテ右範域ヲ政治地理的ニ包含スル最少限度ノ
地域即チ北支五省(黄河以北河南省ヲ含ム)ハ平戰兩時
ヲ通シ日滿ト一環ノ結合内ニ置カルヘキモノナリ
而シテ蒙疆ノ地域ハ對ソレノ見地ヨリ我々前線ニ在リテ
防共防露ノ一方面トシテ準備セラルヘキ地域ナリ

(ロ) 中南支

中南支ハ上海ヲ除クノ外次項第三日支提携一般
問題ノ範圍ニ於テ考定セラルヘキモノナリ

B 1.1.1.0 - 27 2060

四、本事業ノ解決ニ方リ確定スヘキ根本事項

(其形式ハ解決ノ情勢ニ依リ多少ノ變化アルヘシ)

第一 北支ニ於テハ軍事及資源ニ支那主權ニ對スル我優

位確立ニ力ヲ爲シ我援助機構ノ設定

第二 北支及上海ニ於ケル日支強度結合地帯ノ設定

蒙疆ノ對シテ特殊地位ノ設定

第三 △日支提携一般問題 ^{以テ}日支平等互恵 ^ヲ觀念ニ於

テ便宜ヲ得ル程度

(イ) 善隣 ^{友好} 條約

(ロ) 共同防衛

(ハ) 經濟提携

五、全面的ニ守備ノ態勢ニ轉移スヘキ情勢ニ至ル迄ノ間

ニ於ケル北中支ニ對スル ^{援助}方針

政務 ^{援助}一般ニ現地政權發達ノ段階ニ應ゼシ

ヘルモトス

當分北中支分治ノ形態ヲ存續シ(境界ハ前項同)

S 1.1.1.0 - 27 2062

2061

S 1.1.1.0 - 27

0029

之カ統合調整並統一促進ノ爲中央ニ機關ヲ設ケ東

京ヨリノ指導力ヲ一層強化ス

現地ノ指導力ヲ一層強化ス
漸ク逐ク現地特務部業務ノ大部ヲ軍手裡ニ
シテ分離シ且中央政府樹立後中央機關ヲ現地ト
推進ス

其二 戦争指導機構ノ強化統一

ニ關スル措置

本事變以來國家最大ノ欠陥ハ戦争指導機構ノ不

統一乃至不活動ニ在リ 今ニシテ之ヲ是正セスハ本

事變ノ成果ヲ逸シ更ニ近キ將來ニ到來スヘキ歴史的世

界轉機ニ一籌ヲ輸センコトヲ虞ルルノミナラス事變ニ繼

イテ我危急存亡ノ事態發生ノ懸念スラナキニテラス職

ヲ中央ニ奉スル者正ニ猛省ノ要アリ

即刻強化實現ヲ要スヘキ要項左ノ如シ

皇道精神ノ確立徹底

戦争指導ノ一元強化

S 1.1.1.0 - 27 2064

S 1.1.1.0 - 27 2063

0030

總動員指導權、確立
經濟戰及思想戰、基礎確立

*

S 1.1.1.0 - 27 2065

0031

REEL No. A-0218

0331

アジア歴史資料センター

極秘

參拾部ノ内第 三七號

昭和一三、六、二三

戦争指導上速ニ確立徹底ヲ要スヘキ根本方針

本事變ニ對シ有終ノ結ヲ與フルハ今後中央ノ努力ニ在リ之カ爲ニハ戦争指導ニ關スル方針ノ確立徹底ト機構ノ一元強化トヨリ急ナルハナシ

其一 戦争指導ニ關スル根本方針

一、本事變ノ本質及目的

本事變ハ消極的ニハ滿洲事變ノ終末戰タルト共ニ積極的ニハ東亞解放ノ序幕戰タルノ意義ヲ有シ皇國一貫ノ國是タル道義日本ノ確立ト東洋文化ノ再建設トノ爲歴史的一段階ヲ劃スヘキモノナリ
而シテ國是ノ第一次目標タル道義日本ノ確立ハ今次事變ニ依リ北支

ヲ日滿ト一環ノ國防圈ニ包含スルコトニ依リ概ネ之カ實踐力具有ノ基礎ヲ概成スヘク又第二次目標タル東洋文化ノ再建設ニハ先ツ東亞ヲ我皇道ヲ中核トスル物心兩面ノ共榮ニ導キ以テ不幸ナル歐米依存ノ状態ヨリ解放スルヲ要ス之カ爲ニハ眞日本ノ顯現、滿洲國ノ善政日滿支ノ提携並「ソ」英問題ノ處理ヲ必須トシ「ソ」英問題ハ一般ノ情勢上對「ソ」處理ヲ先決トス

二、日支關係ノ根本基調

日支ハ東洋文化ノ再建ヲ以テ共同ノ目標トシ相互ニ善隣ノ關係ニ置カルヘキモノナリ 東亞ニ於テ日本ハ先覺指導者トシテ又支那ハ大ナル實在トシテ夫々天賦ノ使命實相ヲ有シ相互ニ尊重セラレヘキモ

S 1.1.1.0 - 27 2067

S 1.1.1.0 - 27 2066

0032

ノナリ

日滿支カ共同目標ニ向ヒ各々其使命ヲ遂行センカ爲ニハ日本ハ日、
滿、北支ヲ範域トスル強力國防圈ノ確立ヲ必要トシ又支那ハ歐米依
存ノ状態ヨリ脱却シテ國內ノ治安開發ニ邁進スルノ要アリ而シテ日
本カ北支ヲ國防圈トシテ考フルノ程度ハ共同防衛ノ見地ヨリスル戰
略的考慮ノ外現地ノ福利増進ヲ顧念シツツ日滿ノ不足資源ヲ彼地ニ
求ムルヲ以テ基準トスヘク又支那カ國內ヲ開發スルノ要ハ日滿支ノ
間有無相通長短相補以テ生産消費、交易等ノ關係ヲ律スルニ在リ

三北支及中南支ノ皇國ニ對スル地位

(1) 北支

河北省及山西省ノ各北半(概正太線)以北及山東省ハ資源開發上
並軍事上ノ見地ニ於テ皇國ノ自存並日滿國力結成即チ進義日本ノ
大局的生存ノ爲絕對不可欠ノ範域ナリ

從ツテ右範域ヲ政治地理的ニ包含スル最少限度ノ地域即チ北支五
省(黄河以北河南省ヲ含ム)ハ平戰兩時ヲ通シ日滿ト一環ノ結合
内ニ置カルヘキモノナリ

而シテ蒙疆ノ地域ハ對「ソ」ノ見地ヨリ我カ前線ニ在リテ防共防
露ノ一方面トシテ準備セラルヘキ地域ナリ

(2) 中南支

中南支ハ上海ヲ除クノ外次項第三日支提携一般問題ノ範圍ニ於テ

8 1.1.1.0 - 27 2069

8 1.1.1.0 - 27 2068

0033

考定セラルヘキモノナリ

四 本事業ノ解決ニ方リ確定スヘキ根本事項

(其形式ハ解決ノ情勢ニ依リ多少ノ變化アルヘシ)

第一 北支資源ノ開發利用

第二 北支及上海ニ於ケル日支強度結合地帯ノ設定、蒙疆ノ對「ソ」
特殊地位ノ設定

第三 日支平等互惠ヲ基調トスル日支提携一般問題

(イ) 善隣友好

(ロ) 共同防衛

(ハ) 經濟提携

五 全面的ニ守備ノ態勢ニ轉移スヘキ情勢ニ至ル迄ノ間ニ於ケル北中支
ニ對スル内面指導方針

政務ノ内面指導ハ一般ニ現地政權發達ノ段階ニ應セシムルモノト
ス

之カ統合調整並統一促進ノ爲中央ニ一機關ヲ設ケ東京ヨリノ指導
カヲ一層強化ス當分ノ間概ネ現状ヲ繼續スルモ現地ノ狀況ニ照應
シ逐次現地軍政務指導業務ヲ整理ス

其二 戦争指導機構ノ強化統一ニ關スル措置

本事業以來國家最大ノ欠陥ハ戦争指導機構ノ不統一乃至不活動ニ在リ
今ニシテ之ヲ是正セスンハ本事業ノ成果ヲ逸シ更ニ近キ將來ニ到來ス

B 1.1.1.0 - 27 2071

B 1.1.1.0 - 27 2070

0034

ヘキ歴史的世界轉機ニ一籌ヲ輸センコトヲ虞ルルノミナラス事變ニ繼
イテ我危急存亡ノ事態發生ノ懸念スラナキニアラス戰ヲ中央ニ奉スル
者正ニ猛省ノ要アリ
即刻強化實現ヲ要スヘキ要項左ノ如シ

皇道精神ノ確立徹底

戰爭指導ノ一元強化

總動員指導權ノ確立

經濟戰及思想戰ノ基礎確立

0035

8 1.1.1.0 - 27

2072

REEL No. A-0218

0335

アジア歴史資料センター

極秘

別紙

軍事治安ニ關スル事項

一、全面的ニ守備ノ態勢ニ轉移スヘキ情勢ニ至ル迄ノ間ニ於ケル北中支ニ對スル指導方針

山西及山東ノ南境ニ截然一線ヲ劃シ北支ハ守備ノ地域トナシ又中支ハ純作戰ノ地域トナシ以テ守備ト作戰トノ混淆ヨリ來ル諸弊ヲ芟除ス即北支ニハ一軍ノ下ニ長期駐屯ノ態勢ニ兵團ヲ配置シ(蒙疆ハ對「ソ」ノ見地ヨリ特殊性ヲ保タシム)又中支ニハ一方面軍ノ下ニ不弱獨立純作戰ノ態勢ニ兵團ヲ部署ス

三、治安指導ニ關スル方針

(イ) 北支ノ治安形態ニ關スル基本觀念ハ面ナリ

但當分ノ間南部北支(概正太線東西ノ線(含マス)以南)ハ幅ヲ有スル線トス

山西ハ當分ノ間治安ノ範圍ヲ平地及交通幹線ニ限定シ山地ニ對シテハ長圍ノ策ヲ取ル

(ロ) 中支ノ治安形態ニ關スル基本觀念ハ線ナリ

線ハ作戰間ニ在リテハ軍後方連絡線ノ保持ヲ主義トナシ又守備轉移ノ後ニ在リテハ敵ノ侵入阻止線タルノ主義ヲモ包含ス
但南京上海杭州ノ三角地帯ハ概ネ面トス

S 1.1.1.0 - 27

2074

S 1.1.1.0 - 27

2073

0036